

科目名 (科目番号)	医療経済学 (医療経営学含) (時間割参照)	教員名 椎名 清和	学科等	診療放射線	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー			前期水5 後期金5	B217研究室
授業概要	<p>医療現場における意思決定がどのようになされているのか、どのようにすれば行動変容が起きるのかを行動経済学の観点から講義する。講義においては、新聞記事や当事者の手記等を参考資料として配付したり、視聴覚資料を活用したりすることで、問題提起をおこなう。</p> <p>医療現場において生じている現象が、どのようなプロセスで生じているのかを説明するための理論的枠組みのひとつをもてるようになる（科学的思考の基盤を培う）ことを授業の目的とする。</p>						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	オリエンテーション 医療における行動経済学	到達目標:医療における意思決定に関係する各種のバイアスについて説明できる。 学習内容:『授業計画』等により、授業概要や予習・復習の方法を確認する。 学習内容:診療現場での会話例をもとに、行動経済学の考え方を学ぶ。				
	2	行動経済学の枠組み	到達目標:人間の意思決定の傾向を行動経済学の観点から説明できる。 学習内容:プロスペクト理論、現在バイアス、社会的選好、限定合理性等を学習する。				
	3	患者と家族の意思決定 (1)	到達目標:がん治療における意思決定がどのようになされるのかを説明できる。 到達目標:がん検診の受診率を向上させるための方策を説明できる。 学習内容:がんの予防や検診、治療にともなう意思決定について学ぶ。				
	4	患者と家族の意思決定 (2)	到達目標:高齢者と若年成人との意思決定戦略の違いを説明できる。 到達目標:高齢者の意思決定支援における留意点を説明できる。 学習内容:高齢患者の意思決定の特徴について学ぶ。				
	5	患者と家族の意思決定 (3)	到達目標:遺族の後悔を最小化するための意思決定について説明できる。 到達目標:わが国における移植医療や臓器提供の意思表示について説明できる。 学習内容:生活者としての「死」との向き合い方について学ぶ				
	6	医療者の意思決定 (1)	到達目標:生命維持治療において、ガイドラインがもたらす効果を説明できる。 到達目標:生命維持治療における意思決定の違いを説明できる。 学習内容:「安楽死」や「尊厳死」等に関する医療者のバイアスを学ぶ。				
	7	医療者の意思決定 (2)	到達目標:患者の価値観を尊重することの意味を考察する。 到達目標:延命治療における問題点を指摘できる。 学習内容:急性期医療における蘇生行為について学ぶ。				
	8	医療者の意思決定 (3)	到達目標:燃え尽き症候群(バーンアウト)の原因を説明できる。 到達目標:医療者に対する「やりがい搾取」について説明できる。 学習内容:利他性が医療者にもたらす影響について学ぶ。				
成績評価の方法・基準	期末レポート (100%) で評価します。						
教科書	医療現場の行動経済学		大竹文雄・平井啓編著		東洋経済新報社		
参考図書	授業中に適宜紹介する						
教員からのメッセージ	インターネットの普及により医療情報へのアクセスは飛躍的に向上しました。しかしながら、誰もが合理的に最善の判断を下しているとは言えない状況にあります。「なぜ?」をもとに考える習慣をつけていきましょう。期末レポートはコメントを付して返却します。なお、受講生の人数や進度等により、授業内容の一部を変更する場合があります。						